



21 議委 第82号

平成21年12月7日

南会津町議会議長 渡部 康吉 様

総務委員長 芳賀沼 順一



所管事務調査報告書

1. 参加者 芳賀沼順一 湯田秀春 渡部俊夫 大宅宗吉 渡部忠雄
渡部 東 大竹幸一
事務局 渡部俊夫
2. 日 程 平成21年11月10日(火)
午前9時30分から
3. 場 所 ① 会津高原夢開発株式会社
② 株式会社INA
③ 株式会社さゆりの里
4. 目 的 第三セクターの経営状況について
5. 調査内容

① 会津高原夢開発株式会社

社長以下5つの施設の幹部社員による現況説明を受け、各施設ごとに質疑応答を行う。

特に、スキー場のオフシーズン利活用、年々減少するスキー人口に対する集客についてなど、第三セクター会社統合についての心配や設備の補修等が話題となり、会社統合を目前にしているせいかなり具体的な案は示されなかった。

② 株式会社INA

社長と幹部職員から説明を受ける。

高畑スキー場については、正面の壁をとれば教育旅行に伴う誘客が増加する。また、さいたま市の合併によって子どもの来客数が増えているとの説明があった。資本金からの充当による会社の運営では今シーズンの経営も危ぶまれる感があった。

③ 株式会社さゆりの里

社長及び部長の出席のもと説明を受ける。

6施設のうち5施設の赤字経営は承知していたが、ホテル南郷についても旧浦和市、現在、さいたま市から指定管理料が毎年減額されているとのことで、利用客が今のままで推移すると平成22年度には赤字になるのは必至に思われる。

南郷スキー場については、ボーダーのスキー場として人気が出ているので、入り込み客数が70%以下には落ちないと説明があったが、あくまでも推測であり、今後の経営方針しだいと思われる。

所 見

統合協定書の取り交わし直前の調査であったため、各社とも今後の対応については不透明な部分もあったと思いますが、平成20年度の経営や営業実績から見ても甘さがあり、あまり努力のあとが感じられなかった。早急に統合して新しい体制で一転して取り組まなければ当町にとって、大切な雇用の場が大変な重荷になってしまうと危機感を持ってきました。会津高原リゾート株式会社も含め、総点検をして町民に負担をかけないように努力して行きたい。